

失うものは何もない...すべては心のままに生きること。

# 娼婦ベロニカ

恥ずべきことのない人生。



A DESTINY OF  
HER OWN

リー・グエン・エンタープライゼス 製作 アーノン・ミルチャン/バッドフォード・ウォールプロダクション マーシャル・ハースコビッツ/MLM キャサリン・アコマック ルーファス・セウエル “娼婦ベロニカ”

オリバー・ブラット モイラ・ナリー WILLブレイクワード AND ジャック・リン・セセット 音楽ジョージ・ワグネル 衣装デヴィッド・ガブリエラ・バスクッチ 編集ステイブ・ローゼンブラム アーサー・コバーン A.C.E. プロダクションデザイナーノーマン・ガーウッド  
撮影ボージャン・バズリ 製作総指揮マイケル・ササノリン スチーフアン・ラングボール 脚本自伝『The Honest Courtesan』マーガレット・ローゼンタール著 脚本ジャニーン・ドミニ

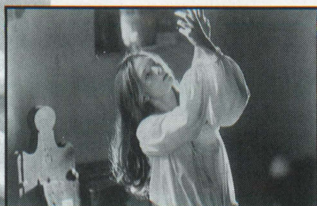
製作マーシャル・ハースコビッツ エドワード・ズワイック アーノン・ミルチャン サラ・キャプラン 監修マーシャル・ハースコビッツ

REGENCY 20th FOX

www.newregency.com



★『恋におちたシェイクスピア』の製作プロが姉妹編として送り出し、世界を魅了する愛と官能美の大ロマン!!



アカデミー作品賞ほか7部門を受賞し大ヒットした『恋におちたシェイクスピア』を製作したエドワード・ズウィック(『レジェンド・オブ・フォール/果てしなき想い』の監督としても有名)ですが、この作品は彼が主宰するベッドフォード・フォールズ・カンパニーの作品でした。ズウィックが続いてその姉妹編として製作を担当し、出来映えもオスカー作品に劣らないと絶賛されている『娼婦ベロニカ』が、いよいよ日本に登場します。

監督は『みんな愛してる』のマーシャル・ハースコビッツで、ベネチア派の絵画を思わせる見事な映像美で愛と官能のドラマに酔わせる名作が誕生したのです。

『恋におちたシェイクスピア』は1593年のロンドンが舞台でしたが、『娼婦ベロニカ』はルネッサンス文化の花ひらいた1583年の水の都ベネチアが舞台で、詩人としてもイタリア文学史に名を残す実在のベロニカ・フランコの華麗な半生を映画化しています。

★たとえ多くの男たちの欲望のえじきになろうと、誇りにみち、強烈な自我で自立のパワーを秘め、運命を切り開いて行った女——ベロニカ!

当時のベネチアでは女性は男性の所有物で、持参金のない娘には恵まれた結婚も出世の道も閉ざされていました。お金のない女性が教養を身につけ特権階級の男性と接触でき、大金を手にする道はコーティザン(高級娼婦)になることしかなかったのです。ベロニカは恋する青年貴族マルコとの恋を身分違いのため引き裂かれ、母の手引きでコーティザンの道に入っていきます。

コーティザンはただセックスを売るだけの女ではなく、選ばれた美貌を持ち、芸術教育を受け、礼儀作法を仕込まれ、最高位の男性のパートナーも務めるレディとして、磨き抜かれた女性でした。

ベロニカは誇りにみち、自我にめざめ、詩を書き、ついにはフランスのアンリ三世のパートナーを務め、戦争の危機に直面したベネチアを救う存在にまでなるのですが、彼女がただひとり心から愛し続けたのはマルコでした。

これはベロニカのドラマチックで波乱にみちたラブ・ストーリーです。偏見や屈辱を跳ね返して生き抜いたベロニカの実在は、男性ばかりか女性の意識まで変え、時代の転換期に彼女がいどんだけ壮絶な戦いは、あらためて世界に大きな感動を呼んでいるのです。



# 娼婦ベロニカ

## 〈スタッフ〉

監督……マーシャル・ハースコビッツ  
脚本……ジャンニン・ドミニ  
撮影……ポー・ジャン・バゼリ  
編集……スティーブン・ローゼンブラム  
音楽……ジョージ・フェントン

## 〈キャスト〉

ベロニカ…キャサリーン・マコーマック  
マルコ……ルーファス・シーウェル  
マフィオ……オリバー・プラット  
ベアトリーチェ……モイラ・ケリー  
パオラ……ジャクリン・ピセット



★21世紀のスター、キャサリーン・マコーマックの魅惑! グウィネス・パルトロウをしのぐ官能美と最高の演技と絶賛!!

ベロニカを演じるのは、アカデミー作品賞受賞作『ブレイブハート』でメル・ギブソンの相手役を務めたキャサリーン・マコーマック。その官能美、知性と情熱にあふれた名演技は『恋におちたシェイクスピア』のグウィネス・パルトロウをしのぐと絶賛されています。

マルコ役は『ダーク・シティ』で主役を演じた、野性的なセックス・アピールで期待の大型スター、ルーファス・シーウェル。ベロニカの母親を、最近では『沈黙の女』に出演しているスター、ジャクリン・ピセットが演じ、助演陣にも最高の女優をそろえています。

『エイジ・オブ・イノセンス/汚れなき情事』でアカデミー衣裳デザイン賞受賞のガブリエラ・ベスクッチが完璧な時代考証で、ベロニカだけで18着、男・女優に100着の衣裳を作り、『未来世紀ブラジル』など3度美術賞候補のノーマン・ガーウッドが、見事な16世紀ベネチアのセットをローマのチネチッタ撮影所に再現。『フィッシャー・キング』など4度音楽賞候補のジョージ・フェントンと、アカデミー賞で業績を評価されているスタッフが結集してベストの仕事を見せています。

※華麗なる映像の勝利!

マコーマックが見る者を虜にする美しさ。ゴージャスで気品あふれるエロティシズム。まさに美と官能の饗宴!(WNBC-TV、ジェフリー・リオン)とマスコミも絶賛しています。

# 11月6日(土)ロードショー

HEPファイブ東南カド 06(6311)2478

# OS劇場 C.A.P



前売鑑賞券発売中/一般券 ¥1,600 (当日料金)一般 ¥1,800/大・高生 ¥1,500/中学・小・シニア(60才以上) ¥1,000(税込) ★特製ポストカード付(劇場窓口限定)

夢のバケーション。  
刺激的な冒険。  
おもいがけない事件。



『ロミオ&ジュリエット』のクリア・デインズ最新作

# ブロークダウン・パレス

20世紀フォックス映画提供 クリア・デインズ  
ケイト・ベッキンセール ルー・ダイヤモンド・フィリップス ビル・ブルマン  
監督ジョナサン・カプラン

今秋、全国ロードショー